ボーリング柱状図

調　　査　　名　府中上下線外　道路災害防除事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名　道路災害防除事業

ボーリングNo.	5	1	3	3	7	1	2	4	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県府中市阿字町(測点No.6+6.80　R-13.5)		北　緯	34° 36’ 12.9750″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成27年12月24日～平成27年12月26日		東　経	133° 10’ 50.8570″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	KBM 132.43m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配 33° 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	6.00m	使用機種	試錐機	東邦D1-B58型	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマーNFD-130型	ポンプ	東邦製BG-3型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1					礫質土	褐～褐灰	中くらい		崖錐堆積物 礫は径5mm～70mmの角礫 礫質は砂岩、泥質岩、緑色岩等 粘性土分局所的に増大する		12/26 1.80 12/25 2.50
2											
3	129.18	3.25	3.25								
4					泥質岩	暗灰～灰			3.25～3.43m軟質 3.43mより中硬質～硬質、柱状～短柱状コア主体 砂岩および珪質岩（チャート）と互層状を呈す。層理面の傾斜は0～30° 4.0～4.8m　割れ目密に発達し、岩片状コア主体 割れ目は褐色に変色、一部で砂質土の薄層を挟む 3.43～4.0m　中硬質岩（CH級）、4.0～6.0m　軟岩Ⅱ（CM級）相当		
5											
6	126.43	2.75	6.00								
7											
8											
9											
10											
11											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	4	2	3	9/30	9
1.45					
2.15	5	4	5	14/30	14
2.45					
3.15	3	20	27/8	50/28	50以上
3.43					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法

室内試験	掘進月日
	12/24
	12/25
	12/26